

# 令和7年度 東京都立青山特別支援学校 学校経営計画

東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画の基本理念である、「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」を推進する。また、東京都教育ビジョン（第5次）など東京都の施策や方針など、根拠に基づいた学校経営と社会に開かれた教育課程の推進を図る。

## I 目指す学校

地域と共生し、児童・生徒の学ぶ力や社会性を育成する学校

教育が充実している学校

安心・安全な学校

連携や広報をする学校

働きやすい学校

もっと学びたくなる

青山で学ばせたい

コミュニティの核であってほしい

勤めたくなる

## II 目指す児童・生徒像

- 1 あいさつのできる子 (未来の自分に必要な力を付けられる子)
- 2 おもいやりのある子 (お互いを大切にする子)
- 3 やるきのある子 (主体的に取り組む子)
- 4 まなべる子 (好奇心旺盛でやりたいことを自分で選ぶ子)

## III 目指す教職員像

- 1 知的障害特別支援学校の一員として、学習指導要領と専門性に基づいた教育を行う教職員
- 2 東京都の施策等の根拠に基づいた教育課程を編成し、P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルを行う教職員
- 3 保護者や地域と連携し、キャリア教育を推進する教職員
- 4 教職員行動指針に基づいて、やりがいをもって働く教職員

## IV 中期的目標と方策（令和7年度から令和9年度までの3ヵ年）

- 1 学習指導要領に基づいた9年間の連続性・系統性のある教育活動の推進
- 2 人権を尊重した安心・安全な教育の整備と推進
- 3 社会参画を目指したキャリア教育の推進
- 4 特別支援教育のセンター的機能の役割を果たす学校運営
- 5 ミドルリーダーを中心とした組織的・機能的な学校運営
- 6 働き方改革を推進する学校運営

## V 令和7年度の取組目標と具体的方策（最重点項目）

- 1 学習指導要領に準拠した学習内容配当表を活用した授業の実践
- 2 キャリア・パスポートに基づいたキャリア教育の推進
- 3 児童・生徒、保護者、地域から信頼を得られるための情報共有と情報発信
- 4 教職員の超過勤務時間を月45時間以下にするための学校運営の推進

## 重点テーマ：働き方改革を進めながら、教育充実を図る青山特別支援学校

		具体的な方策・取組目標（成果指標）【上段：方策、下段：目標】
<b>学 習 指 導</b>	1	個別指導計画、学校生活支援シート等に基づいた適切な指導の実施 学校評価：保護者の肯定的評価 95%以上
	2	学習指導要領に準拠した学習内容配列表を活用した授業の実践 指定教科、学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%以上
	3	ICT 機器を活用した授業の実践の推進 学校評価：保護者の肯定的評価 95%以上
	4	児童・生徒が主体的に学習できる学習環境の整備と指導方法の工夫 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%以上
	5	外部専門員等を活用した指導の充実 学校評価：教員の肯定的評価 95%以上、学校運営連絡協議会による評価
<b>生 活 指 導 ・ 進 路 指 導</b>	1	事故ゼロを目指し、組織的な安全点検の実施と環境整備日の実施 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%以上
	2	スクールバスの円滑で安全な運行の徹底 学校評価：教員の肯定的評価 95%以上、連絡会【毎月】、研修会【年2回】
	3	キャリア教育の視点に基づいた教育の推進 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%、研修会・企業等との連携【年3回以上】
	4	危機管理に対する指導の徹底と災害備蓄の強化 危機管理マニュアルの活用と検証、学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%
	5	生活や発達年齢を考慮した指導の推進 学校評価：教員の肯定的評価 95%
<b>特 別 活 動 ・ そ の 他</b>	1	人権に配慮した教育活動の徹底 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 100%
	2	ホームページやX 等による情報発信の強化 【年間】300 回以上の情報更新
	3	関係機関（就学前機関や教育委員会など）との連携強化と指導・助言の実施 年 30 回以上
	4	副籍交流の実施と近隣学校（小・中・高・特支）との連携 副籍交流実施率 85%、交流会等（各学部年 10 回以上）
	5	読書活動の推進 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%、貸出 600 冊【年間】
<b>学 校 運 営</b>	1	「青山ルール（教員心得・情報管理など）」に基づいた行動の徹底 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 95%
	2	服務規律の徹底 倫理規定の策定、研修会【年4回以上】、学校運営連絡協議会による評価
	3	主幹教諭を中心とした円滑な学校運営と人材育成 学校評価：保護者及び教員の肯定的評価 90%
	4	働きやすい職場環境とライフワークバランスの推進 超過勤務時間、月 45 時間以下、【全教員】
	5	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底 センター契約 75%、【全教職員】

